



まつ毛やまゆ毛が、あまり長くないのはなぜ

毛乳頭が、早い時期に毛をつくるのをやめるため

まつ毛やまゆ毛が、あまり長くないのは、毛の毛根にある毛乳頭が、早い時期に、毛をつくるのをやめてしまうからです。

人間の体に生える毛には、かみの毛やまつ毛、まゆ毛、鼻毛、耳毛、ひげ、わき毛などでいろいろな毛がありますが、どの毛も、毛のつくりやのび方はみな同じです。

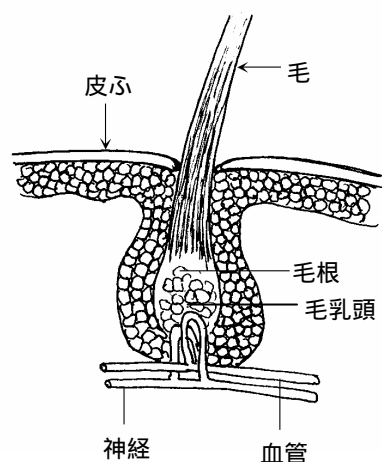
そして、毛は一度ぬけても、毛根が生きていれば、また新しい毛ができてきますが、まつ毛やまゆ毛などが、あまり長くないのは、毛根にある毛乳頭が、早い時期に毛をつくるのを、やめてしまうからです。

かみの毛などの毛がのびるのは

かみの毛の、皮ふにかくれている、根っこのような部分は、毛根とよばれています。毛根の根元の、少しふくらんでいる部分には、毛乳頭というものがあります。

この部分で、かみの毛はいつも少しずつつくり続けられ、だんだんおしあげられてのびてくるため、たとえ切っても、またのびてくるというわけです。

かみの毛のじゅ命は、平均3年で、1か月に約1センチメートルほどのびます。しかし、かみの毛の生え方には個人差があるため、中には、もっとじゅ命が長く、もっと長くのびる人もいます。（監修・保志 宏）



毛根のようす

